

【様式4】令和2年度 学校自己、及び、学校関係者評価表 武蔵村山市立第五中学校

経営理念	(1) 主体的に学習・生活し、学力・体力の向上を目指す学校 (2) 自他の人権を尊重する精神を育てる学校 (3) 地域に根ざし、地域と共につくる学校
------	--

【学校運営協議会・会長】 荒嶋 善政
学校運営協議会(学校評価分) 第1回 9月3日(木)
第2回 11月5日(木)
第3回 2月19日(金)

	経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標	自己評価				分析コメント(学校関係者評価委員会の意見、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)	改善策(来年度の目標設定、具体的な取組目標)	学校関係者評価		
				10月		1月				最終評価	意見	評価点 (4点満点)
				目標値	達成値	達成値	達成度					
確かな学力の向上	【中期】 全生徒に対しての基礎学力の定着を図る。	地球未来塾事業や東京都立武蔵村山高等学校生徒の学習サポートを活用し、定期考査前や放課後、長期休業中に、補習授業や補充教室を実施する。	・補習授業・補充教室の回数(時間) ・生徒アンケート ・保護者アンケート	90	65	72	B	定期考査前に、担当教科の教員が補習教室を計画的に行うことができた(年間4回)。「地域未来塾」を計画的に活用し、3年生の数学と英語の学習を夏季・冬季休業中と9月からは毎週行い、成果を出した。ただ、コロナ禍ということもあり武蔵村山高校の生徒を呼んでの学習会はできなかった。	定期考査前の補習教室、「地域未来塾」、武蔵村山高校の生徒による学習サポートを実施し、基礎学力の定着を図る。また、今年度は、「地域未来塾」の参加生徒が少なかったため、声掛けをし、各クラス10名以上の参加を目指す。	武蔵村山高校の学習サポーターをコロナの影響で活用できなかった。放課後の委員会や部活動を行う時間を確保するために朝の時間を活用してはどうか。いろいろとやっているが定着していない。	2.9	
	【中期】 家庭学習時間を増やし、習慣化を図る。	「学習の手引き」を活用し、家庭学習の計画を立てさせ、学習習慣を身に付けさせる。保護者会や学年便りなどで、家庭学習習慣の確立に向けた保護者への啓発を行う。	・家庭学習に取り組んだ時間 ・生徒アンケート ・保護者アンケート	80	63	79	B	今年度も家庭との連携を深めるために、学習の手引きの改訂版(保護者の役割掲載)を配布し、協力をしていただいた。しかし、家庭学習の習慣化は十分とは言えない状況である。	次年度も年度当初に、学級活動等で担任から「学習の手引き」を使った指導を行い、習慣化を目指す。今年度周知した学習支援コンテンツを活用してもらうよう保護者会や面談等で家庭に協力を求めていく。	様々な負担を考えると基礎のドリルを購入してはどうか。普段の家庭学習時間が極めて少ない。短期的な目標をつくり、集中して行う。(コンテストなど)継続的に教材を行う。	3.2	
	【中期】 読書活動の活性化を図る。	朝学活終了後、朝読書を実施する。また、学校司書と連携し、図書室活用を通して、本への興味・関心を高め、読書量を増やす。	・図書室の利用生徒数 ・生徒アンケート ・保護者アンケート	80	68	85	A	多くの生徒は朝読書を行ったが、十分に身に付いたとはいえない。図書室の活用は、感染症防止対策を行い開館することができた。	例年とは違い、貸し出し可能冊数を増やすなど工夫をしながらの図書室活用であった。来年度も図書室の利用がしやすくなるよう工夫を行っていく。	NIIEを活用する。全員ではないが読んでいる。	3.4	
	【中期】 基礎的・基本的事項の向上を図る。	各種検定に自主的に取り組み、学習意欲と基礎的・基本的事項の向上を図る。	・検定受験生徒の割合 ・生徒アンケート ・保護者アンケート	80	63	79	B	コロナ禍ではあったが、可能な限り検定試験を受けられるよう機会をつくった。徐々にではあるが、検定試験を受けようという気持ちが出てきた。	次年度も漢字・英語・数学の各検定の日程を生徒へ周知し、受検を奨励し、いずれかの資格を取得させる。	一年で全員受験させてはどうか。そのための学習を学活で行ってはどうか。	3.2	
豊かな心の育成	【中期】 いじめ撲滅への取組	年3回のふれあい月間を活用し、いじめに関するアンケートや教育相談、人権教育に関する授業を行い、生徒が主体的にいじめ防止の取組を行うよう推進する。SNSに関するトラブルの未然防止のため、セーフティ教室、道徳授業地区公開講座等保護者の参加を促し、危機意識を高める取組を行う。	・教師自己評価 ・生徒アンケート ・保護者アンケート	90	61	68	B	年3回のふれあい月間によるアンケートや2者面談等を行い、いじめ防止の取組を行ってきた。また、今年度は2名のスクールカウンセラーを配置してもらい、生徒や保護者のカウンセリングも行うことができた。	コロナ禍でセーフティ教室やSNS防止教室などができなかった。また、道徳授業地区公開講座は紙面発表の身となったので、来年度は開催し、未然防止に努めていきたい。	コロナ禍で保護者向けの活動はできなかったが、取組は行うことができた。	2.7	
	【中期】 特別な支援を要する生徒への対応	特別支援教室、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と連携し、教育相談活動の充実を図るとともに、ユニバーサルデザインを推進する。また、不登校コーディネーターを中心に個に応じた指導を進める。	・教師自己評価 ・生徒アンケート ・保護者アンケート	90	62	69	B	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも参加し、教育相談部会を毎週1回開催し、生徒支援の具体的な検討・実施を行うことができた。特別支援教室の指導教員と協働して、個別指導や特別の支援が必要な生徒への指導が行えた。	次年度も、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの教育相談部会参加により、関連機関との迅速な連携を行う。特別支援コーディネーターや特別支援教室の指導教諭を中心に不登校生徒や特別の支援が必要な生徒の支援体制を充実させる。	今年度から特別支援教室が立ち上がり、取組が大幅に変わった。(例年以上に個別支援が行われた)	2.8	
	【短期】 地域活動・ボランティア活動を充実させる。	担当者の計画的なボランティア募集等の取組により、地域行事やボランティア活動への生徒の参加率を高めしていく。	・参加した生徒の延べ人数 ・生徒アンケート ・保護者アンケート ・地域関係者の評価	90	61	68	B	今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、計画は立てたもののほとんど取組を行うことができなかった。第八小学校への読み聞かせとあいさつ運動、二・八・十小へのペットボトルキャップ回収を行った。	今年度は、校区の小学校と連携した取組と地域行事へのボランティア参加が行える状況であれば、生徒の参加を促していく。	今年度はコロナの影響でほとんどやれていない。生徒たちは残念がっていた。	2.7	
健やかな体の育成	【中期】 オリンピック・パラリンピック教育の推進	オリンピック・パラリンピックについて学び直しをし、オリンピック・パラリンピックに関しての機運を再度高める取組を行う。また、豊かな国際感覚を養うとともに、体験や交流を通して、障害者理解を推進する。	・オリパラに関する授業の実施回数 ・教師自己評価 ・生徒アンケート	85	60	71	B	障害者理解を深めるために、東京都のオリ・パラ事業を活用し、外部からパラリンピアンを招いた講座と市の指定を受けた事業で2回の講演を行った。	次年度に東京2020オリンピック・パラリンピック教育が延期されたので、国際理解教育や障害者理解教育を推進していく。	オリンピック・パラリンピックが延期で残念であった。	2.8	
	【短期】 基本的な生活習慣を確立し、健康に過ごす意識を高める。	残食ゼロウィークに積極的に参加し、給食の残菜率の結果分析に基づき、食育の取組を行う。給食時の放送を利用して、食材の紹介をする取組を行う。	・給食残菜率調査 ・生徒アンケート ・保護者アンケート	80	67	84	A	今年度は、新型コロナウイルス感染症防止の取組(給食前の手洗いの徹底、給食係の手指消毒の徹底、班での給食を止め、個人での食事を実施等)を行った。また、残食ゼロウィークは行われなかったため、来年度へもち越しをする。昼の放送で、食材の紹介等を行った。	年度当初の呼びかけと徹底で新型コロナウイルス感染症防止の取組が根付いたので来年度も継続して行う。また、昼の放送を活用し給食について知らせていく。来年度、残食ゼロウィークが行われたときは、給食委員会を中心に取り組んでいく。	例年、五中は残食率が高く、あまり改善されていない。(今年度は実施されていない)準備時間を早くし、食事時間を確保するようにする。	3.4	
開かれた学校	【中期】 コミュニティ・スクールとして、学校への参画意識を高める。	コミュニティ・スクールとして、活動方針や活動内容を周知し、様々な取組を推進する。	・学校運営協議会が関わる活動に参加した生徒・保護者の割合 ・生徒アンケート ・保護者アンケート	90	71	79	B	今年度は、職場体験が実施できなかったが、新たな試みとして、学校運営協議会の方に講師を紹介していただき、職業講話(プロから学ぶ会)を実施した。また、3年生に対し、面接官として模擬面接を実施していただいた。今年度の芝刈りは多くのPTA役員の方に参加していただき、短時間できれいに実施できた。	3年生に対しての模擬面接は、緊張感をもたす意味でも継続していきたい。また、職業講話(プロから学ぶ会)は、次年度も継続していきたい。次年度も芝刈りは多くの方に参加していただければと思います。防犯パトロールはコロナの影響でほとんどできなかったため、来年度は可能な範囲で実施していく。	コミュニティ・スクールの方の活動はとてもよく、ありがたく思っている。今年度は、PTAの方もたくさん参加していただきとても助かりました。	3.2	
	【中期】 保護者・地域の教育力を取り入れた教育活動の展開	地域行事へ積極的に参加し、地域の教育力で社会性を育む。国際理解教育を推進し、地域や横田基地との交流を進める。	・外部講師の活用回数 ・生徒アンケート ・保護者アンケート ・地域関係者の評価	90	63	76	B	今年度は、コロナの影響で計画のみで、ほとんどできなかった。	次年度もしっかりと計画を立て、実施できるような準備をしていく。	今年度は五中フェスティバルなど実施されなかったが、例年成果を出していると思う。今年度は、コロナ禍で保護者等を呼べなかったことが残念。	3	

【達成度】 = [達成値] / [目標値]  
 【評価】 A: 8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定 B: 8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施 C: 5割未満→目標の見直し

平均値 3.1